

有明海の未来に繋がる 水産業の創生

平成26年

11月30日(日)

13:00~16:00

ほほえみ館 4階 視聴覚室

佐賀市兵庫北三丁目8番36号

【開催趣旨】

有明海異変後、有明海問題=開門調査となって、司法の場において関係者の間で未だに争いが続いています。そのような中で有明海再生機構は、昨年12月に「有明海の未来」に繋げる緊急提言をまとめ、この問題を司法だけに委ねるのではなく、地域の問題として話し合いで解決しようということを提案しました。

有明海再生機構は、この緊急提言を受けて有明海問題を地域の問題として考えようということで、これまで5月18日に「有明海再生の道筋を探る」、8月30日に「開門調査」から「有明海の未来」が見えるか」というテーマでシンポジウムを開催してきました。

今回は、「有明海の未来に繋がる水産業の創生」です。

持続的な漁業・食料供給を考える上で、水産資源の減少はわが国だけでなく世界的な課題となっています。有明海においても、二枚貝の減少、平成12年のノリ養殖の大不作等水産資源を取り巻く環境は年々厳しくなっています。諫早湾干拓事業との関連など原因究明も必要ですが、「開門調査」を巡る争いに10数年を要する一方、有明海環境の再生への道筋が全く見えない状況が続いています。現実的な対応として、関係者が知恵を出して有明海の未来に繋がる水産業の創生を、水産予算が確保できている今こそ考えなければなりません。



【プログラム】

■話題提供 「今後の閉鎖性海域での水産業の在り方」

広島大学 教授 山本 民次

■ディスカッション

- ◎コーディネーター 有明海再生機構 顧問
- ◎討議参加者 佐賀大学 教授
- 佐賀大学 准教授
- 佐賀県有明海漁業協同組合 専務理事
- (一財)九州環境管理協会 上席研究員
- 佐賀大学 農学部長

- 川上 義幸
- 大串 浩一郎
- 速水 祐一
- 田上 卓治
- 中嶋 雅孝
- 渡邊 啓一